ふくもっちゃんの部屋 ～新着雑誌のお知らせ～

今回は、西口ライブラリーで新たに購入した雑誌をご紹介します。

新着雑誌

「FUDGE（ファッジ）」

ヨーロッパスタイルを主軸としたカジュアルファッションのほか、雑貨やカルチャーなど幅広く紹介します。

西口ライブラリーへお立ち寄りの際には、ぜひご利用ください！

～朗読会「ことのはの時間（とき）」を開催します～

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時　令和６年９月７日（土）午後２時３０分～（４０分程度）
場所　コラッセふくしま３階　３０２会議室
定員　１５名（先着順）※事前申し込み・参加費は不要です

図書館カレンダー　９月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

図書館カレンダー　１０月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

□ 印は休館日　○ 印は「ふくよみの日」貸出2倍デー

2024年9月1日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1－20
℡024-525-4023

発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1－1
℡024-531-6551

≪図書館ホームページ≫

福島市西口ライブラリー広報

西口ライブ発信

2024年 9･10月号

毎月２４日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう！

新着本案内

『イギリスを知る教科書』

君塚　直隆　監修

ナツメ社（302－イギリ）

イギリスには独特な風習が残る議会や長く続く王室の伝統、発祥とされるアフタヌーンティーのマナーなど、多彩な魅力があります。多くの写真やイラストを交え古代から現代までの歴史・文化を紹介します。

『レトロでポップな ビーズリング＆アクセサリー』

ブティック社（594－レトロ）

パールを使ったマスクストラップやさくらんぼモチーフのチョーカーなど、色鮮やかなアクセサリーを数多く掲載。編み方と使用するビーズが一目でわかる表もついています。お気に入りを見つけて、作ってみてはいかがでしょうか？

『60分でわかる！最新著作権超入門』

STORIA 法律事務所ほか　編著　石田 怜夢ほか　著／技術評論社（021－ロクジ）

生成 AI を利用した創作物に著作権は発生するのか？　人気の楽曲を自分で歌って動画サイトに投稿するのは著作権侵害にあたるのか？　誰もがデジタルで情報を発信できる時代に、知っておきたい著作権についてわかりやすく解説します。

『図説北条氏康』

黒田 基樹　著

戎光祥出版（289－ホウジ）

北条氏康は北条家の三代目にして、「天下無双の覇主」といわれるほど政治にも武略にも優れた名将でした。武田信玄や上杉謙信、今川義元など名だたる武将たちと渡り歩き、関東を支配した氏康の生涯を豊富な資料とともに紐解きます。

『乃井探偵社は 今日も倫理観ゼロ』

安萬　純一　著

論創社（F－アマン）

乃井冬子、真下初音、滝上ゆかりは、娘を殺された女性から犯人を警察より先に見つけて欲しいと依頼される。3人は犯人探しに奮闘するも捜査は難航し…。

刑事を脅迫、不法侵入、倫理観皆無の彼女達は事件を解決できるのか。

新着本

西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

なるほど！Copilot 活用術 マイカ　著／技術評論社（007－ナルホ）	心の窓 沢木　耕太郎　著／幻冬舎（914．6－サワキ）
中国古典の生かし方 湯浅 邦弘　著／NHK 出版（159－ユアサ）	めでたし、めでたし 大森兄弟　著／中央公論新社（F－オオモ）
神と人と言葉と 武田　徹　著／中央公論新社（289－タチバ）	転の声 尾崎　世界観　著／文藝春秋（F－オザキ）
パリの本屋さん 鹿島　茂　著／中央公論新社（293－カシマ）	天神さまの花いちもんめ 嗣人　著／産業編集センター（F－ツグヒ）
新人指導の教科書 JMAM「基本能力研究会」著／日本能率協会マネジメントセンター（336－シンジ）	Across the Universe 秦　建日子　著／河出書房新社（F－ハタタ）
異界にふれるニッポンの祭り紀行 大石　始　著／産業編集センター（386－オオイ）	今夜、喫茶マチカネで 増山　実　著／集英社（F－マスヤ）
「人体、マジわからん」と思ったときに読む本 千田　隆夫　著／オーム社（491－センダ）	もしも豊臣秀吉がコンサルをしたら 眞邊　明人　著／サンマーク出版（F－マナベ）
いちばんやさしい「推しぬい」つくりかた BOOK ぴよぴっこ　監修／メイツユニバーサルコンテンツ（594－イチバ）	ヒソップ亭　3 秋川　滝美　著／講談社（PF－アキカ－3）
まいにちお漬けもの こてら　みや　著／世界文化社（596－コテラ）	戸惑いの捜査線 佐々木　譲ほか　著／文藝春秋（PF－トマド）
中学英語でもっと読みたくなる洋書の世界 林　剛司　著／青春出版社（830－ハヤシ）	御隠居用心棒残日録　1 森　詠　著／二見書房（PF－モリエー1）

作家と震災

1923年に発生した関東大震災では、当時多くの作家が被災しました。室生犀星は数日前に長女が生まれたばかりでした。妻子が入院していた病院は消失し、行方がわからなくなりましたが、上野で再会しました。谷崎潤一郎は箱根の乗合自動車の車中で被災しました。路の右側は深い谷になっていて、走っている最中にも傍らから路が崩れていったそうです。なんとか泊まっていたホテルに戻ることが出来ましたが、家族のいる横浜までの交通手段がありませんでした。そこで徒歩や汽車を使って関西に向かい、神戸から船で横浜に戻ることができたのです。

参考文献：『関東大震災文豪たちの証言』石井 正己　編／中央公論新社（Ｐ２１０．６-カント）
『文豪たちの関東大震災』児玉 千尋　編／皓星社（９１８．６-ブンゴ）

ライブラリアンの

展示★名作案内

山

～登った先に何があるのか～

三春町出身の登山家、田部井淳子さんがモデルとなった小説です。

『淳子のてっぺん』

唯川　恵　著

幻冬舎(F－ユイカ)

子どもの頃から山登りが好きだった淳子。男性との体格差や女性への差別にも負けず、ただひたすら山の頂を目指します。女性としての人生や周囲との軋轢に苦悩しながらも、エベレスト登頂に挑んだ登山家の物語です。

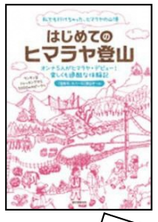
穂高小屋は大正１４年に建てられました。

『穂高小屋番レスキュー日記』

宮田 八郎　著

山と溪谷社(786－ミヤタ)

穂高岳は日本第3位の高峰であり、毎年何件もの遭難事故が起こっています。穂高小屋（現、穂高岳山荘）は、山小屋としての役割と同時に遭難救助の最前線の場でした。長年にわたり、支配人を務めた著者が救助の実態を語ります。



ヒマラヤ登山のイメージが変わりました。

『はじめてのヒマラヤ登山』

「目指せ、ネパール」登山チーム　著／誠文堂新光社(292－ハジメ)

「ヒマラヤに行ってみたい」の一言をきっかけに、登山経験や体力の異なる女性5人が5520メートルのヒマラヤの山に挑戦した記録です。出発前のトレーニング法や装備のポイント、ネパールの食事など体験者ならではの情報が満載です。

一度は行ってみたい憧れの場所です。

『高野山癒し』

久利 康暢　著

主婦と生活社(188－クリコ)

山の上に創られた町、高野山。平安時代弘法大師空海によって開かれ、今でも信仰の聖地として人々に愛されています。荘厳なお堂や緑豊かな風景、宿坊についてなど高野山の魅力を写真と共に伝えます。

自由な暮らしが山奥にはあります。

『「山奥ニート」やってます。』

石井 あらた　著

光文社(916－イシイ)

ひきこもりとなった筆者は、和歌山の限界集落へ移住し新たな生活を始めた。

廃校や空き家を活用して暮らす、梅採りや畑仕事の手伝いをして生活費を稼ぐ、地域に住む高齢者との交流に苦戦したなど、山奥ニート生活の様子を綴る。